



「裏金 大軍拡 改憲 自民党OUT」 「19日行動」100回目に参加
声をあげる国賠同盟の仲間たち (3月19日 衆議院第2議員会館前)



東京都本部
「不屈」No.598付録
東京版No.499

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034
東京都文京区湯島2-7-8
芳音お茶の水ビル1F
電話 03(6240)0283
FAX 03(6240)0284
振替 00100-5-99628
E-Mail tokyo-chian@bz04.plala.or.jp

署名を持って 5.15国会請願へ

副会長 風間 秀子

- 一、ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために、治安維持法体制の復活に反対すること。
- 二、国は、戦前の治安維持法が人道に反する悪法であると認める。
- 三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

東京都は1990年代に「仮称・都平和祈念館」で展示するため、「東京大空襲をはじめとした戦争体験」の証言を収録した。都議会では「祈念館」の展示内容や歴史認識を巡り紛糾。都是計画を凍結し、ビデオのほとんどが倉庫に眠り続けていた。今年3月に都内3か所で公開された。池袋の会場へ見に行つた。壁面に東京の戦災時の地図や、その様を展示している真ん中に20脚程の椅子が並び、ビデオが上映され、証言が次々と続いている。「大きな火が燃え上がつていいのにか1人で押し流されました。吐く息はあつても吸う息がないんです」と語る女性。「なんという苦しさだろう」と思つただけで涙が…。別の男性は「ふと気が付くと川のふちでした。周りには焼け焦げた丸太がいっぱいありました。それは死体だったのです」聞くのも苦しい地獄絵の中で本

たと毎年話してくれる。彼の母は6歳の彼の手を引き2歳半の次男を背負い、さらに病気で歩けず、いざつて動いていた姑を引きずり起こして、ようやく道路に出ると、道路は煙突のよう路に出ると、道路は煙突のように風が通り抜け、火の大車や、乳母車が飛んでいった。だから3月10日が命日だ。戦争は始めてはならない。こそ黄色の署名をもつてこの事実を語り、大きな世論にしていこう。5月15日の国会請願に持ち寄ろう。

亡くなつたのだ。あつてはならぬ地獄が日本中で起きたのだ。ビデオを見ていた学生が必死でメモを取つていた。他にも若い方が見受けられ、やはり公開されてよかつた。常設館であつてほしいと切に思う。

5・15国会請願、6・19・20全国大会、 7・27都本部大会へ、署名目標と会員拡大の飛躍を

第8回理事会 3月24日

自民党は、企業団体献金で作った裏金で国民の80%から見放されている。その裏で、朝鮮人追悼碑撤去、強制連行は無かつたと歴史を改ざん。経済安保法案（秘密保護法を経済分野に適用）、「武器輸出」を国会の審議なしで決めていた。腐敗にまみれた自民党政権を引き継ぎ、官邸独裁で日本を「戦争する国」へと進めている。

自民党政権を変えて、憲法に基づく民主政治実現こそ、日本を救い、平和と国民生活も守る道です。私たち同盟の要求実現の道です。来るべき総選挙勝利めざし全力を尽す。

「国会請願」は5月15日(水)

各1人の拡大。特別期間の支部計画を決め取り組みを強めましょう。

支部活動

3月の到達は5559筆、団体109。昨年は7326筆でした。以上の参加で、5月10日までに都本部に登録を。当日は組を作り、各議員に要請します。3～5月は署名推進強化期間です。

都本部の活動日誌

各支部・会員から

待望の「中央支部」誕生

3月6日 三役会議

3月8日 婦団連「国際女性デー」

3月12日 多喜一祭実行委員会

5～7月は全国、都本部大会

3月は練馬・中央・東村山支部で

2024年度会費納入を4月から取り組み、全支部100%を

財政再建を大きく前進させましょう。

2023年度会費納入は、3月末で74%の到達で、募金は114%でした。

23年度会費未納分は4月中に克服を。2024年度会費請求は4月から取り組み、必ず100%納入を達成しました。

3月13日 関東プロツク打合せ
3月14日 平和パーク打合せ
3月15日 市川正一墓前祭

3月16日 東京母親大会実行委員会
3月17日 36回多喜二祭、婦人民主クラブ78周年講演会
3月19日 国会前行動
3月21日 第8回理事会
3月22日 9・1追悼会打合せ
3月24日 中央支部結成総会
3月30日 東村山支部第4回総会
3月31日 春を呼ぶ集い

3月13日 関東プロツク打合せ
3月14日 平和パーク打合せ
3月15日 市川正一墓前祭

3月16日 東京母親大会実行委員会
3月17日 36回多喜二祭、婦人民主クラブ78周年講演会
3月19日 国会前行動
3月21日 第8回理事会
3月22日 9・1追悼会打合せ
3月24日 中央支部結成総会
3月30日 東村山支部第4回総会
3月31日 春を呼ぶ集い

牲者、杉浦正男氏の妹で中立区議会

0歳の田口仲子語りからメツセーリジが寄せられ励まされま

た。支部長に就任した93歳の石原信夫さんの思いがこもった挨拶は感動を呼びました。紹介いたします。

「この機会に過去を振り返つてみました。頭にこびりついているのは戦時の苦難や敗戦後の屈辱の記憶ばかりです。中でも幼い子供たちが進駐軍を取り巻き、手をいっぱいに伸ばし“Give me chocolate”とね

だる有様は今さらに脳裡に焼き付いています。昨今高齢者・弱者が切り捨てられる日本を福祉国家とも民主主義国家ともまた、世界の誇れる國家であるとも感じることはございません。かつて日独伊三国同盟のパ

ートナーであったドイツ、イタリア両国とも立派に独立国として国際社会をもらいました。また治安維持法規も同様に認められました。

紙面の都合で「幾山河」は休みます



で活動している有様をうらやましく観察しています。情けないです。

私の小学校時代に支那事変と第2次世界大戦が勃発して、中学校3年生の時、敗戦国となりました。樂しかったはずの私の青春時代は暗黒の軍国時代の10年に変わってしまいました。

辛いことが色々ありました。お腹がすいても勤労奉仕を強要されたり、配属将校に訳もなくぶん殴られて軍事教練をさせられる等は日常茶飯事でした。また女学生で紡績工場へ動員され、大量の原綿をすわされて、肺病を患い20歳でこの世を去った姉を思い出す度に、涙がこぼれてしまっています。不条理な時代でした。

私たちが等しく敬服する田口仲子先輩は多くの事を諭してくださいっています。101歳の今も平和を願い前を向いてまっすぐに歩いています。

「貧しい子どもたちがいなくなるよう。愛する人が戦争で死なないよう願いながら」と。田口先輩のこの熱く、深い思いに、私たちが感銘を覚えています。

ところで、昨今の国際情勢は混んとして予断を許しません。私たち庶民の立場から、アメリカと財閥、富裕層いなりの自民党政権に要求すべきことは、大軍拡の政治をやめ、国民の自由な言動を抑圧しないことです。特に後者については、まさに

同盟の目標である「治安維持法体制復活に反対する」ことです。そして最大・最終の目標は庶民の為に諸悪の根源である自民党的政治を断ち切ることです。皆さま大いに力を合わせてまいりましょう(一部省略)

東村山支部第4回総会を開く

3月30日に第4回定期総会を東村山市民センターで開きました。「じんぶん赤旗」の折り込みも含め宣伝し58名が参加、資料が足りませんでした。都本部からは中嶋事務局長が挨拶しました。

昨年は、市民に見える活動を展開。

「12・9忘れない、忘れさせない!治安維持法と戦争」の集会は、国賠同盟と日本共産党市委員会の共催で、大きく成功させました。また、街頭からの訴えも重視し、年間5回の伝行動と支部「不屈」も22号まで発行しました。

24年度は、来年の支部結成5周年に向けて、新しい支部長、役員で前

桜が咲き始めた暑い日となりました。伸哉さんはレジュメと両親の経歴年表を用意して、年代を追つてわかりやすく話され、愛情を感じ、ま

進を勝ち取ることを確認しました。「今日の話は語り継いでいくべきだ」と参加者の意見を受け、小冊子を作成し普及しています。

「春を呼ぶつどい」開催

女性部



都本部女性部と板橋支部女性部が共催し、3月31日に板橋グリーンホールで開催。念願の小松ときさんの話

をご子息の小松伸哉さんから聞くことができました。23人が参加し、全員が感想を出し合って充実した集会になりました。都本部から阿部事務局次長と風間女性部長が挨拶司会は板橋支部の永田理事が努めました。

「つどいに参加して」

豊島支部 石嶋晴美

父の益喜さんは東京美術大学西洋画を卒業され、在学中に共産党に入党。「赤旗」発行に携わりました。病氣で転地療養中の高知でも、上海事変への出兵に反対のビラを兵舎に2度撒きました。そのビラを詠んだ兵士がこの戦争に疑問を持ち戦後共産党員になられたというエピソードも話されました。何度も絵画で受賞した。都本部から阿部事務局次長と風間女性部長が挨拶司会は板橋支部の永田理事が努めました。

画家として活躍した夫の益喜さんとお子さん4人を育てながら反戦を貫いた壯絶な生き方に感動しました。最後は参加者全員から意見や感想、質問が出され、歌も出ました。益喜さんのことは絵画を見るところを含めてもう少しお聞きしたいと思いました。忘れられない講演になりました。

第32回市川正一墓前祭

八王子支部

3月15日は市川正一の命日です。今年は雨あがりで、玉砂利が光っていました。伸哉さんはレジュメと両親の経

るでドラマを見ているようでした。私は母親の小松ときさんが獄中で短歌を詠み、残されていると聞いただけで詳しくは知りませんでした。ただで詳しく述べるも最後まで黙秘を通されたそうです。

父親の益喜さんは東京美術大学西洋画を卒業され、在学中に共産党に入党。「赤旗」発行に携わりました。病氣で転地療養中の高知でも、上海事変への出兵に反対のビラを兵舎に2度撒きました。そのビラを詠んだ兵士がこの戦争に疑問を持ち戦後共産党員になられたというエピソードも話されました。何度も絵画で受賞した。都本部から阿部事務局次長と風間女性部長が挨拶司会は板橋支部の永田理事が努めました。



いました。午前11時、長石井共産党八王子市議会議員、日本共産党八王子地区委員会の和久さんが挨拶、全員が献花しました。

「市川正一の不届の闘いを引き継ぎ、民主日本実現に手を挙げましょう。来年は治安維持法施行100年、没後80年の節目の年です。記念の墓前に記念撮影をしました。

大田支部は3月3日に支部の集いを開催し、映画「武器なき斗い」を上映しました。今回の集いは、山本宣治が95年前の3月5日に右翼テロリストにより刺殺され、39歳の若さで亡くなった命日を前にして、催されました。29名が参加し、2時間20分の上映時間を全員がスクリーンに集中しました。

映画「武器なき斗い」は戦前の生物学者で政治家でもある山本宣治の生涯を描いた作品です。労働者、農民の団結、結集を強めながら生活改善、権利拡大に向けて闘った様子が描かれています。「生物学者として戦争反対、平和を求める彼の行動に感ずるものがあった」「2時間20分はあつという間に過ぎた感じ」「今生きる私たちにとって戦前のことは片づけられない」「戦争反対、自由と民主主義を求める礎となつた時代の闘いを感じ取ることができた」等の感想が寄せられました。

七夕にや百合子の背で隠す裏新宿区阿部俊雄「コメ作りメシ食えねえ」が聞こえぬか調布市稻邑明也「唱和する『戦争と暗黒政治許さない』」荒川区風間秀子裏金にたかりにたかるノルマあり八王子市清水邦治豊島区高橋陽子非正規で利益積み上げ知らん顔足立区中嶋育雄宮仕えすまじきものは裏の鐘刷新とあまりも遠い政論審豊島区藤本増美團扇

3月17日、中野区産業振興センターで第36回多喜二祭開きました。今年は小林多喜二の代表作『蟹工船』の面白さ、その深さに迫ろうと浅尾大輔(小説家)さんの記念講演「小林多喜二の小説『蟹工船』の面白さ」と映画『蟹工船』を上映しました。

私たちの思い以上に関心が高く、途中で参加券の案内をストップしました。それでも、舞台に椅子を並べるほど盛況で、250人余の参加を頂きました。

感想には「アポなしで、空席待



ちの大盛況。すごいと思いました。映画『蟹工船』何度鑑賞しても迫力があり、圧倒されます。また参加したい」「講演は『蟹工船』がなぜ、このような感動を人々に与えるのか、その謎を分かりやすく解き明かしてくれました。まるで、小林多喜二が現れたような話でした。もう一度読み直します」「浅尾さんの

『立春大吉』は引き込まれながら読んだが、さすがの講演。読み取り方が、実に鋭く細やかだ。まるで、多喜二になったかのような気になりました。『言葉』の力、比喩、ユーモア、連帶…すごい」とありました。

軍備の異常な拡大や安保法制の動きなどに対する、みなさんの中にある思いの反映を強く感じました。多くの参加者が多喜二の小説を読み直したいと話されていたのも印象的でした。

(事務局長 中嶋育雄)

今回のは映画上映に時間を割いた内容になりましたが、今後是非とも会員の拡大、交流、求められる活動について話し合える場ができるなど感じました。

能登半島地震の被災者救援募金は都本部まで

宮仕えすまじきものは裏の鐘
豊島区 藤本増美

刷新とあまりも遠い政論審
豊島区 中嶋育雄

團 扇

支部の集い

「武器なき斗い」上映

大田支部 酒井利男

植竹団扇 選

七夕にや百合子の背で隠す裏新宿区阿部俊雄

「コメ作りメシ食えねえ」が聞こえぬか

調布市稻邑明也

唱和する『戦争と暗黒政治許さない』

荒川区風間秀子

裏金にたかりにたかるノルマあり八王子市清水邦治

豊島区高橋陽子

非正規で利益積み上げ知らん顔足立区中嶋育雄

宮仕えすまじきものは裏の鐘刷新とあまりも遠い政論審豊島区藤本増美

團 扇